令和2年度指導計画（社会）

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	社会	総時数	105時間	学年(コース)	2学年
使用教科書	日本文教出版株式会社『中学社会 歴史的分野』				
副教材等	オールマイティ『アクティブ社会 歴史Ⅰ』 同『アクティブ社会 歴史Ⅱ・Ⅲ』 正進社『歴史の資料』				

1 学習目標

歴史的事象に対する関心・理解を深める。
日本の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して日本の文化と伝統の特色を考えさせる。

2 指導の重点

国家・社会及び文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物や現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させる。

3 学習計画

月	単元名	使用教科書項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	歴史のとらえ方	人類の始まりと文明 日本列島の人々と国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で歴史を学ぶ動機づけ、意味づけを行い、学習意欲を高める。 ・関心のある主題について、調べる計画を立てて調査し、まとめて発表する。 	18	定期テスト 課題提出 授業の取り組み
5	古代までの日本		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの祖先が、いつごろ現れ、どのような生活を送っていたのかを理解する。 ・日本列島で狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことを理解する。 		
5	古代までの日本	古代国家の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の古代国家のしくみや農民の生活のようすを理解するとともに、その変容について考える。 	18	定期テスト 課題提出 授業の取り組み
6	中世の日本	鎌倉幕府の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・武士の世の中となり、どのような日本社会がどのように変容したかを理解する。 		
7	中世の日本	室町幕府と下克上	<ul style="list-style-type: none"> ・町や村で自治的なしくみが生まれ、人々の生活がどのように変わっていったのかを考える。 	18	定期テスト 課題提出 授業の取り組み
8			<ul style="list-style-type: none"> ・戦国大名による全国統一事業が行われるなかで、日本社会がどのような変化をとげたかを理解する。 		
9	近世の日本	中世から近世へ			

10	近世の日本	江戸幕府の成立と	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府の成立によって、安定した社会が生まれ、産業や交通が各地で発達した過程を理解する。 産業革命を背景とした欧米諸国のアジア進出のなかで、日本もその影響を強く受けるようになった事実を考える。 	24	定期テスト 課題提出 授業の取り組み
11	近代の日本と世界	東アジア			
	日本の近代化	産業の発達と元禄文化 幕府政治の改革と農村の変化 欧米の発展とアジアの植民地化			
12	近代の日本と世界	近代国家への歩み	<ul style="list-style-type: none"> 明治維新後、急速に近代化を進め、外国への進出をはかるようになっていったことを理解する。 二つの世界大戦の背景には、どのような政治や経済の動きがあったのかを理解する。 二つの世界大戦から、日本が何を学んだのかを考える。 	27	定期テスト 課題提出 授業の取り組み
		日清・日露戦争と東アジアの動き			
1	近代の日本と世界	第一次世界大戦と戦後の世界			
2		第二次世界大戦と日本 平和と民主			
3	現代の日本と世界	化 国際化する世界と日本			

計105時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

- (1) 与えられた課題・提出物は期限までに必ず提出しましょう。
(2) 長期休業中の課題・提出物は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)		(知識・理解)
社会的な事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用・表現	社会的な事象についての知識・理解
歴史に対して興味・関心を持ち、意欲的に学ぼうとしている。	歴史の知識をふまえ、現代世界の課題を歴史的視点から多面的・多角的に考察しようとしている。 歴史的視点から世界の多様性を学び、異文化に対する理解を深めている。	歴史の基本的事項に関する諸資料をさまざまな方法で収集し、主体的に選択・活用し、歴史的事象を追究する方法を身に付けている。	歴史を理解するために必要な基本的な知識を身に付けている。 日本を取り巻く国際環境と関連付けて日本史の大きな枠組みと流れを把握している。
以上の観点を踏まえ、定期考査を基本とし、課題提出、小テストなどで総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

定期考査の結果だけでなく、授業の参加の様子や課題への取り組み方などを総合的に見て評価します。望ましい学習態度をきちんと身に付けられるよう努力しましょう。歴史の学習は、歴史の「流れ」をつかむことが大切だといわれています。教科書やノートをよく読み、原因・経過・結果などを理解するよう心がけましょう。また、問題集は繰り返し解くことで、知識の定着を図ることができます。
(担当：佐藤優之)